

しんぶん赤旗を
日刊（電子版も）
3,497円／月
日曜版930円／月
申込み 363-1450

民主なかがわ

第230号

日本共産党中川区編集委員会編集
中川区荒中町157荒中マンション
電話 363-1450
FAX 352-7801
<http://egami-hiroyuki.jcpweb.net/>

えがみ博之事務所開き

中川区での市議選勝利めざし2月26日、「えがみ博之事務所開き」が開催されました。冷たい北風が吹く中で、60人を超える参加者で、弁士の訴えに合いの手が入るなど和やかに進みました。

市民の命と暮らしを守る

から戦争準備に突き進む岸田政権、愛知県政、名古屋市の共産党以外の政党への批判と共産党議席の値打ちが語られました。

日本共産党議席の値打

伊藤國次郎中川区後援会長の挨拶で始まり、業者後援会副会長長坂野逸朗さん、中川区女性後援会小玉あさ子さんからそれぞれの切実な要求の実現を求める訴えが行われました。日本共産党愛知県委員会石山書記長

登壇したえがみ博之市会議員は「コロナ・物価高騰から市民の命と暮らしを守り、河村市長の民主主義破壊を正して」きたと語り、「18歳までの入院に加え、通院医療費無料化」「敬老パスの拡充の実現」「環状2号線や正江橋架橋工事、都市高速黄金インター拡張工事等での住民との共同の



市議選勝利めざし、団結がんばろう三唱する皆さん

運動の取り組み」を報告。河村市長の統一協会との癒着やあいちトリエンナーレでの対応問題や「憲法9条は恐ろしい」発言などの民主主義破壊を追及し、「コロナ、物価高騰から市民の命と暮らしを守る名古屋市政を推進するために頑張ります」と決意を語りました。西田敏子党南西地区委員長からえがみ市議の再選・必勝に向け地区委員会として全力を挙げるとの表明のあと、山本雅之後援会事務局長の音頭で、参加者全員で「団結がんばろう」を三唱して閉会しました。

大軍拡・大増税許さない19行動

改憲NO！中川総がかり行動実行委員会は、雨の2月19日、集会を八田公園で、その後パレードを高畑交差点を経由して中川郵便局前まで実施しました。

安保法制Ⅱ戦争法廃止

大軍拡・大増税路線を突き進む岸田政権への怒り、憲法9条をにかけて東アジアの平和と外交を訴えました。リレートークは、年金者組合、富田9条の会、地域



労働組合センター、新婦人の会、西部民商、介護の会の代表で行われました。日本共産党から、えがみ



名古屋市議選への思い

市議 えがみ博之

疑問を持ちました。でも、周りに気を使いながら行動はしませんでした▼大学に入り、戦前、国民が主人公を掲げ、侵略戦争反対、戦後、アメリカにモノを言う日本共産党を知りました。曲がったことは正す、仲間がいればやっていける。そんな思いで日本共産党に飛び込みました▼怖いという印象がありました、綱領・規約に書いてあることを信じて参加しました。今、日本共産党市議として送っていただき、住民が主人公の政治実現にまい進できます。暮らし守り、正義実現に全力を尽くします。

博之市議が「日本は、今年、戦争か平和かの瀬戸際です。大軍拡・大増税は許さないたたかいを国民運動と世論ですすめましょう」と呼びかけました。次いで、「平和な日本を実現するため安保法制Ⅱ戦争法廃止を求め、9条改憲を許さない」決議が採択されました。集会后、パレード。「ロシアはウクライナ侵略やめろ」「戦争法は憲法違反」「敵基地攻撃は許さない」「9条改憲反対」「消費税5%へ」等を訴えました。

弁護士相談3月16日（木）午後6時半 電話連絡363-1450 江上事務所

市議選勝利めざす新春の集い

2月11日、日本共産党中川区後援会主催で「大軍拡・大増税絶対許さない、市議選勝利新春の集い」が区内で開催されました。恒例の新春の企画です。

第一部では、山本後援会事務局長のギター演奏と独唱。懐しくやさしい歌に、自然と会場からも口ずさむ声があがりました。

えがみ市議市政報告

第二部では、えがみ博之市会議員が市政報告と決意表明。えがみ市議は、「大軍拡・大増税に突き進み、物価高騰に有効な対策がうてない岸田政権、河村市政も同じで手を打っていない。日本共産党市議団は、物価高騰から暮らしを守る緊急提案を行いました。学校給食の無償化、国保料の引き下げ・18歳以下の均等割免除、コロナ融資の返済



必勝の声に応えるもとむら衆院議員（左）とえがみ市議（右）

猶予・延長、学生の奨学金返還への支援、市による時給1500円以上への努力、

などです。また、子ども医療費18才までの完全無料化や敬老パスの市バス地下鉄に加え私鉄への拡大などを市民のみなさんと日本共産党との共同の力で実現してきました。区内では、環状2号線や正江橋架橋工事の問題、都市高速黄金インター

拡幅工事等の地域課題でも住民要求実現に取り組んできました」と報告。そして、「引き続き河村市長や自民党議員等の統一協会との癒着・民主主義破壊を追及し、市民の命と暮らしを守る政治を名古屋市で推進するために全力で頑張りたい」と決意を語りました。

もとむら衆院議員応援

続いて、もとむら伸子衆議院議員が国会報告を。

「環状2号線工事による被害状況の調査に、えがみ市議と行ってきました」「市議選ではこの中川区でえがみ博之市議の議席を必ず守ると共に、議案提案権を持つ6議席をめざしましょう」と訴えました。参加者一同で必勝を誓いあいました。

市民の命、暮らしを守る税金の使い方を

えがみ博之市議は、開催中の名古屋市会2月議会（2月17日から3月16日）で質問しました。

トリエンナーレ負担金

えがみ市議は、2月24日、2019年8月開催された「あいちトリエンナーレ2019『表現の不自由展その後』」の展示が、「日本

人の心を踏みしめるものだ」と主張する河村名古屋市長が主催団体への負担金のうち3300万円余の支払いを拒否した事件で、文化芸術基本法に基づく「表現の自由」「文化活動を行うものの自主性、創造性を尊重して」負担金を支払うよう求めました。

「元気に一杯飲んでカラオケ歌って発言」撤回を

3月3日、「まあ、元気にみんなで一杯飲んでカラオケ歌って自然免疫をきちんと作るというのが、（コロナ対策の）基本的方法」という、河村市長の1月23日

記者会見の撤回を求めて質問。記者会見の前週までのコロナ状況は、感染者、死亡者も多く、救急搬送困難事例が1週間で317件と過去最高。急病で搬送要請しても受け入れを32回断られ、227分間現場待機の事例。高齢者施設での死亡者も多発していた時期です。



河村市長は、「みんな元気になるってちょ、自然免疫をつけてつてちょと、というのをいうのは、感染症対策の基本中の基本」と繰り返し撤回しませんでした。

「木曾川水系連絡導水路再開発言」撤回を

河村市長は2月14日、記者会見で、「使わん水に市民の税金や水道料金を払ってええのか。徳山ダムにも

反対したけど、できた以上は生かす道がないか考えるのが市長の仕事だ」という趣旨の発言をし、凍結していた木曾川水系連絡導水路事業を再開したい、と発表。理由は、1 揖斐川のおいしい水の確保 2 治水対策 3 堀川浄化の3点を挙げました。えがみ市議は、この3点について質し、河村市長の発言撤回を求めました。

徳山ダム建設は総事業費約3300億円、市の負担分は525億円、そのうち429億円を市は支払い済み。これに加え、今後とも年2億円の管理費の支払い。河村市長は、導水路事業で80億円。さらに、名古屋独自に揖斐川から直接名古屋市に水を引く導水管布設に50億円使う計画であることを明らかにしました。

えがみ市議は、「徳山ダム、導水路、そして、独自の導水管、『無駄の三重奏』」と追及しました。市長は撤回拒否しました。

3月早朝宣伝

14日 火	JR春田
17日 金	万場小橋
24日 金	あおなみ線中島
28日 火	近鉄伏屋
30日 木	あおなみ線荒子
朝7時半から8時	

無料相談（子育て・教育問題も）毎週月・木 午後6時半から8時
弁護士相談 毎月第3木曜 江上ひろゆき事務所まで電話363-1450